

西部所・支所GOOD NEWS！！

特集号（地域連携 編！）

日頃から大変お世話になっております。西部所・支所都立学校のGOOD NEWSをお届けします。

都立多摩桜の丘学園

特集 NEWS 12 地域と連携した国際理解教育の推進

【取組内容】

本校では、国際理解教育の一環として「ユニセフ共同募金活動」「ダルニー奨学金募金活動」「ベルマーク収集活動」を通して、貧困地域に住む世界の子供たちを支援するための「さくら国際支援隊」を結成しています。

肢体不自由教育部門の総合的な学習／探究の時間に、貧困のため教育の機会に恵まれない子供たちへの支援の輪を広げることを目標にテーマソングを作ったり、募金活動に取り組んだりしました。

【経緯・工夫について】（取組に至った経緯や実施にあたっての工夫 など）

本校の国際理解教育では、児童・生徒が課題を主体的に考え、解決していくことにポイントをおいて指導に当たっています。

令和3年4月から11月に、小学部と高等部の児童・生徒7名が、総合的な学習／探究の時間に、プロミュージシャンの吉岡研一郎先生の指導を受け「ハレルヤ～君の笑顔に出会えますように～」の楽曲を作りました。楽曲は、本校文化祭で全校児童・生徒に初披露するとともに、本校のYouTubeチャンネルに掲載しました。

また、令和4年1月からは、永山高校生徒会と連携して永山駅での「ダルニー奨学金募金活動」に取り組んでいます。

共同募金活動に向けて、7月8日（金）に本校教員が永山高校の生徒に「共生社会」や「障害者理解」をテーマに出前授業を実施するとともに、7月11日（月）には、オンラインで両校生徒が自己紹介しながら交流を深めました。募金活動当日は、両校生徒が協力しながら、地域の人たちに募金を呼びかけました。

【効果や今後の展開について】

今後、永山高校でも募金活動を実施したり、永山高校・多摩桜の丘学園双方の文化祭で教育活動を紹介したりするなどして、地域と連携した国際理解教育をますます発展させる計画です。

【各学校での活用のポイント】（他校でも応用が可能な点 など）

同校の国際理解教育の活動は、児童・生徒が総合的な学習／探究の時間や特別活動を中心に、自ら課題を設定し、解決するためにはどうしたら良いのかを探究的に学びを深めて行くことにポイントがあります。

令和4年度からは東京都教育委員会の地域人材・資源活用推進事業の指定も受け、東京大学大学院教授 北村友人先生からの助言を受けながら教育課程がより充実するよう取り組んでいるところです。



駅前で募金活動



児童と生徒の交流の様子